

市民の皆さんと選んだ「ふくろい10大ニュース2023」

～袋井で今年起こった出来事やニュースを振り返る～

- ◇今年1年間に袋井市で起こった主な出来事や市政ニュース50項目の中から、市民の皆さんによるネット投票で上位10項目を選出し、「ふくろい10大ニュース2023」を決定した。
- ◇12月5日から11日を期間とし投票を呼びかけた結果、約200人の方から投票をいただいた。選出された10大ニュースを次のとおり発表する(投票数の多かった順に掲載)。

にぎわい

大歓声と拍手に包まれ待望の復活 「ふくろい遠州の花火」4年ぶりに開催

7月29日、原野谷川親水公園で「ふくろい遠州の花火」が開催されました。

過去3年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が見送られた中、待望の開催となった今大会。スターメインから始まり、本市ゆかりの偉人「三浦環」にちなんだ講演や流行歌、交響曲などに合わせて打ちあがる多彩な演出で会場を盛り上げました。

最後を締めくくったのは「日本一ジャンボワイドスターメイン」。幅300メートルにわたって数千発の花火が一斉に打ち上がる様はまさに圧巻で、会場は大歓声と鳴りやまぬ拍手に包まれました。



地域活力

沿岸部の「安全対策」から「にぎわい」「活力創出」へ 海のにぎわい創出プロジェクト本格始動

浅羽海岸の防潮堤整備に一定の目途が立ったことから、令和4年度に立ち上げた「海のにぎわい創出プロジェクト」において、地域住民や海岸利用者の皆さんと意見交換を重ねながら「海のにぎわい創出ビジョン」を策定し、プロジェクトを本格的にスタートしました。

今年度は、浅羽体育センターの敷地内に新設する休憩・交流施設兼トイレの設計や防潮堤の南北通路交流スペース、展望スペースなどの環境整備に着手しています。



【「NIGHT WAVE～光の波プロジェクト～」開催】

同笠海岸の魅力発信と活用可能性を確認する実証事業「海プロフェスタ」を、昨年引き続き開催。

12月15・16日には、「夜」をテーマとして、県内初となる波のみをライトアップする「NIGHT WAVE～光の波プロジェクト～」を実施。延べ3,500人（2日間）の来場者に、同笠海岸の自然の魅力を最大限引き出す幻想的な空間を楽しんでいただきました。



コロナ

4年ぶりに各種イベント・行事が再開 地域ににぎわいと笑顔が戻る 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行

5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更され、基本的に季節性インフルエンザと同様の取扱いになりました。

これにより、今まで中止や規模縮小を余儀なくされてきた各種イベントが再開され、市内各所でにぎわいと笑顔が戻ってきました。

市長
推し

若者の挑戦

高校生たちの挑戦が大人たちを動かした 袋井高校パソコン部によるプロジェクションマッピング披露

4月9日、「袋井の四季」を表現したプロジェクションマッピングにより法多山の本堂が彩られました。

「袋井の魅力を伝えたい」という思いで袋井高校パソコン部の生徒たちが企画したもので、企画に賛同した（一社）ペイフォワードシズオカの支援の下、昨年7月下旬から準備を実施。市もふるさと納税を活用した「クラウドファンディング活用支援事業補助金」で応援するなど、多くの方からの支援を受け、「Fukuroi High Schools Challenge」として企画が実現しました。



災害

頻発化・激甚化する災害を教訓として、風水害に強いまちづくりを進める 大雨により市内4地区に「警戒レベル5 緊急安全確保」発令

6月2日から3日にかけて、台風2号に伴う大雨により、敷地川・大谷川・秋田川の水位が上昇したため、三川・今井・村松・高南地区に「警戒レベル5 緊急安全確保」を発令。市内でも床上・床下浸水や土砂崩れ、道路冠水などが発生しました。

<主な被害状況>

物的被害	住家	床上浸水	1件
		床下浸水	14件
	非住家	床上浸水	2件
		床下浸水	3件
道路冠水		13路線	
公園施設被害		2箇所	
道路被害（法面崩落、土砂流出、倒木）		11箇所	



スポーツ

祝J1復帰 スポーツの力でスマイルあふれるまちに 袋井市を含めた県西部7市町がジュビロ磐田のホームタウンに

ジュビロ磐田が今年でJリーグ昇格30周年を迎えることを契機に、5月16日に、従来の磐田市に加え、新たに本市を含めた県西部7市町（袋井市・湖西市・浜松市・森町・掛川市・菊川市・御前崎市）がホームタウンに追加されました。

今後は、サッカーを通じた子どもたちとの交流に加え、ジュビロ磐田のホームゲームでのおもてなしブースの出展やコラボグッズの作製など、スポーツの力を活かしたまちづくりに取り組んでいきます。



子育て

子ども医療費助成事業の制度拡充 子育てにやさしいまちへ 高校生年代までの医療費の完全無料化

子ども医療費助成事業は、今まで0歳から就学前までの通院代を無料化の対象としていましたが、制度拡充により、10月診療分からは高校生年代までを無料化の対象に拡大しました。

また、今まで助成対象外だった入院時の食事療養費も無料化したことから、高校生年代までの子どもの医療費は完全無料化となりました。

(～令和5年9月)

	未就学児	小・中学生、高校生等
通院	無料	500円/回(5回目以降無料)
入院	無料	
入院時の食事代	対象外	

(令和5年10月～)

未就学児	小・中学生、高校生等
	無料
	無料
	無料

教育

施設の有効活用と水泳授業の充実で子どもたちに笑顔 市内4小学校で市営プールを活用した水泳授業開始

本市の学校プールが抱える、老朽化をはじめとした様々な課題の解決に向け、令和3～4年度に市営プールを活用した水泳授業の実証事業を行いました。

その結果を踏まえ、5月10日から市内4小学校(三川・高南・浅羽北・浅羽南)で市営プール(月見の里学遊館・水玉プール、袋井B&G海洋センター、風見の丘)を活用した水泳授業が本格的に始まりました。その他の小学校も、築40年を目途に老朽化状況等を勘察し、市営プールへの切り替えを検討します。



まちの誇り

活躍できる人材を地域とともに育成 袋井商業高校創立100周年記念式典開催

11月10日、袋井商業高校創立100周年記念式典がさわやかアリーナで開催されました。当日は、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で監督として日本代表チームを世界一に導いた、栗山英樹さんの講演も行われました。

市は、社会で活躍できる人材を地域ぐるみで育成していくため、高校をはじめ、地域や産業界、大学などとの連携を強化していきます。



魅力発信

市の特産品を絵本でPRした手法が、全国広報コンクールで評価 クラウンメロンを題材とした絵本が総務大臣賞&BSよしもと賞を受賞

6月23日、栃木県栃木市で開催された令和5年全国広報コンクール授賞式において、クラウンメロンを題材とした絵本「おうさまのメロンはどこへいった?」が、広報企画部門において最高位の特選に選ばれ、総務大臣賞とBSよしもと賞をダブル受賞しました。

この絵本は、令和3年度に制作したもので、全国の公立図書館や市内の幼稚園・保育園等に配布し、絵本を通じてクラウンメロン及び市のPRに活用しています。

